

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年11月1日

事業所名 コペルプラスジュニア千葉中央教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4		
	②	職員の配置数は適切であるか			4	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			随時、職員全員でのミーティングを実施し、各自の目標設定や振り返りの共有と進捗状況等の確認、意見交換を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			療育中、常に保護者様との面談や相談ができる環境を整えており、意向等の把握や情報共有に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	(第三者評価実施なし)
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			常に保護者様との面談や情報共有により現状や課題を把握・共有し、意向を反映させた個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			アセスメントプログラムを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			職員全員で子どもの状態や特性に合わせたプログラムを検討し実践している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			子どもに合わせたプログラムを職員全員で考案し、変化を持たせながらプログラムを提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			子どもの状態をみながら保護者様と相談し合い、個別支援計画を作成している。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎回療育前に打ち合わせや確認、情報共有を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			毎回療育終了後に療育や支援の振り返りと情報共有、次回への課題や取り組みについて話し合いを行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			療育後に記録をとり、職員間で情報共有を行い、次回の療育・支援に活かしている。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			常に保護者様と面談の機会を設け、モニタリングを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			ケース会議や情報交換会、学校の授業見学など、必要に応じて学校との連携・情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4		現状では医療的ケアが必要な子どもはいない為、今後は必要に応じて連絡体制を整えていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4			

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			常に保護者様への聞き取りや面談を行い、子どもの状況について情報共有を行っている。現状での課題や支援の提案、共通理解に努めている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時や必要に応じて説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			療育中など保護者様が相談しやすい環境を整え、面談にて必要な助言や支援の提供に努めている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			月1回「ペルクン通信」を発行し、保護者様にお渡ししている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	4			ケースファイル等個人情報にかかわるものは、すべて鍵のかかる書庫に保管している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3		
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			教室に避難経路等の掲示を行い、周知している。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年2回(5月・11月)避難訓練を実施している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			契約時に保護者様へ説明し同意を得たうえで、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」に署名・捺印をいただいている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4		